

10月18日 秋の街歩きルート詳細

田無 → → 西武柳沢 → → 東伏見 → → 武蔵関 → → → 八丁
10時02分発 10時03分 10時05分 10時07分着
西武新宿線田無から169円 10時12分発荻窪行 関東バス「荻32」
所用20分程度

「八丁」の地名の由来

かつて青梅街道の北側から早稲田通りにかけての一体は「今川氏」の領地で、このあたりから八丁(約800m)程の界限に、領地を管理する今川家の役人の屋敷が点在していたことに由来すると言われている。

(徒歩15分程度) → → **本むら庵荻窪本店** (11時から各自昼食) → →
創業大正13年・本格石臼挽き手打ち蕎麦の老舗

(**光明院**境内の荻の小径を経由して徒歩15分程度) → → → JR中央線荻窪駅西口
和銅元年(708年)、某行者が葦荻を刈って草堂を作り寺を創建したことに由来して一帯を「**荻窪**」と呼ぶようになったと、お寺の縁起にも記されている。

→ (徒歩) → → **荻外荘(てきがいそう)公園** → (徒歩) → → **角川庭園**
大正天皇の侍医頭の入澤達吉が 角川書店の創業者で俳人の
昭和2年に別邸として建て、のちに 角川源義の邸宅を杉並区へ
近衛文麿の邸宅となる。太平洋 寄贈して開設された庭園。
戦争開戦を決定つけた「荻窪会 談」が開かれ、終戦後近衛が自決 した場所。国の史跡。
入館料300円

→ (徒歩) → → **太田黒公園** → (徒歩) → → **西郊ロッヂング**
音楽評論家・太田黒元雄の 昭和6年建築の洋風建築で、洋間の
屋敷跡。樹齢100年を超える 高級下宿。国の登録有形文化財。
イチヨウ並木や回遊式日本庭園
もあり、1900年製の愛用のスタイン
ウェイのピアノも展示され、洋館は
国の登録有形文化財。

→ (徒歩) → → **名曲喫茶ミニヨン** ? → (徒歩) → → JR中央線荻窪駅(帰路へ)
(お疲れ休憩) ***武蔵関、石神井公園方面バス便頻発**